

お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を心から歓迎いたします。
「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」

教会の働き

創立 32 周年を迎えて

ハレルヤ。主の恵みによって、飯田福音教会は創立 32 周年を迎えることができました。ここまでの歩みを守り導いてくださった神さまに、心から感謝と賛美をささげます。

32 年の間には、喜びの時も試練の時もありました。しかし、そのすべての中で教会を支え、守ってくださったのは主ご自身でした。多くの祈り、献身、涙、そして愛の積み重ねが今日の教会を形づくっています。

聖書はこう語ります。「ここまで主が私たちを助けてくださった。」(I サムエル 7:12)

私たちは過去を感謝しつつ、これからの歩みも主にゆだねてまいります。この町にあって福音の光を掲げ、主を愛し、隣人を愛する教会として、さらに成長していきたいと願っています。主の豊かな祝福が、教会とすべての聖徒の上にありますように。

飯田福音教会
柳 承吉・柳 智愛 牧師

■ 2 月 26 日、教団の集いに出席し、また 3 月 2～5 に行われる教団セミナーにて講演のご奉仕をさせていただきます。さらに、3 月 9～11 には世界異端対策協会の総会・大会においても講演を依頼され、出席する予定です。どうぞお祈りください。移動の安全と、語る言葉が主に用いられますよう、皆さまのお祈りをお願いいたします。



ともに築き上げられていく
共同体

エペソ 2:20-22

20 使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられていて、キリスト・イエスご自身がその要の石です。
21 このキリストにあって、建物の全体が組み合わされて成長し、主にある聖なる宮となります。
22 あなたがたも、このキリストにあって、ともに築き上げられ、御霊によって神の御住まいとなるのです。

来週礼拝奉仕者

主日礼拝 柳澄香(賛美リーダー) 鈴木真由美(祈祷)

夕方賛美礼拝 韓芽唯(賛美リーダー) 高木はつ江(祈祷)

水曜礼拝 松島スヤンティ(司会) 松島浩一(祈祷)

2026 年 祈 祷 題 目

1. 神の御心を求める礼拝と祈りが満ちる教会。
2. 次世代(子ども、若者)が主に召され、信仰に立つ祝福。
3. 福音宣教に献身する者、次世代リーダーが起こされるように。

週報 2026-8 号

2026.2.22

創立 32 周年記念礼拝

神の計画の中を歩む教会

日本福音宣教連合
宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4

TEL 0265-56-8286

www.iidahc.com

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)

副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

主日礼拝

AM 11:00~

賛美リード 柳澄香

信仰告白 (使徒信条)
代表祈禱 熊谷茂美
特別賛美 インマヌエル聖歌隊
賛美チーム・エンジェル
聖書箇所 エペソ 2:20-22
(ともに築き上げられていく共同体)
メッセージ 柳承吉牧師
賛美 神の家族
祝 禱 柳承吉牧師

夕方賛美礼拝

PM 2:30~

賛美リード 韓芽唯

代表祈禱 松島スヤンティ
聖書箇所 詩篇 126:3
(共同体の幸い)
メッセージ 柳承吉牧師
主の祈り

水曜礼拝

PM 7:00~

司 会 北原孝子
代表祈禱 松島スヤンティ
聖書箇所
メッセージ 柳澄香執事
主の祈り

今週の御言葉 ともに築き上げられていく共同体

エペソ 2:20-22

私たちの教会は、32 年前、1994 年 2 月 28 日に
始まりました。振り返れば、節目ごとに神の助けがあ
り、労苦し献身してくださった聖徒たちがいました。
これまで飯田福音教会を守り導いてこられた神に、
感謝と栄光の拍手をおさげしましょう。

今日は教会の誕生日です。教会の価値と意味を、
もう一度心に刻む時としたいのです。そして、さらに
神を喜ばせる教会へと新しく出発する契機となるこ
とを願います。

私たちの 32 年の歩みは、「主がともに築いてこら
れた歴史」でした。教会は一瞬で完成した建物では
なく、みことばと祈りの上に、一つひとつ石を積み重
ねてきた共同体です。創立当初、祈りとみことばを中
心に骨組みが形づくられました。聖歌隊の発足、教
会運営の整備、それらは小さく見えても、確かな基
礎工事でした。

1990 年代後半には、礼拝・教育・宣教が広がりま
した。次世代の育成、地域伝道、連合祈禱の働きへ
と主は導いてくださいました。そして大きな節目が会
堂建築でした。特別祈禱から起工式、入堂、献堂へ。
その過程は、「教会は人の計画ではなく、神の導きによ
って建てられる」という信仰告白の刻印でした。

その後も教育、奉仕、宣教は広がり、困難な時代、
感染症の時期を経ても、礼拝と交わりは絶えること
がありませんでした。私たちの歴史は、人間の成功
物語ではなく、キリストが要の石となられ、御霊によ

って築かれてきた歴史です。聖書で「教会」という言
葉が初めて出るのは、マタイの福音書 16 章 18 節で
す。「あなたはペテロです。わたしはこの岩の上に、わ
たしの教会を建てます。」主が建てられる教会は、
ペテロという人物そのものの上ではなく、「あなたは
生ける神の子キリストです」という信仰告白の上に建
てられます。教会とは建物ではなく、イエスを主と告
白する人々の共同体です。そして世のただ中に建て
られます。よみの門も、決してこれに打ち勝つことは
できません。

パウロはエペソ人への手紙で教会を「キリストのか
らだ」と呼びます。頭はキリスト、私たちは肢体です。
頭に従い、互いに結び合わされるとき、主の満ちあふ
れる豊かさを経験します。さらに教会は建物にたとえ
られます。土台はキリスト、要の石もキリスト。私たち
は生ける石です。石と石がびたりと組み合わされるた
めには、削られ、整えられる過程が必要です。時にそ
れは痛みを伴います。しかし、それなしに一つの家は
完成しません。私たちは今も「ともに築き上げられて
いる」途上です。互いの不完全さを受け入れ、キリス
トを基準に整えられていくのです。目的は、「神の御
住まい」となることです。大きさや華やかさではなく、
神が喜んで住まわれる器となることです。

さらに教会は拡張していきます。御霊は世界中で
人々を結び合わせておられます。

32 周年の今日、私たちは改めて祈ります。主イエ
ス・キリストを土台とし、要の石とし、全聖徒が結び合
わされて、神の御住まいとして築き上げられていく飯
田福音教会でありますように。アーメン。